

NGU NEWS ISSN 0915-8901

# COSMORAMA

54

1999  
MARCH



白井新一「陶土採掘場」



Culture & Human Resources

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY

CONTENTS

Interview

近藤年弘 ..... 1

NGU Focus

学部長わが学部を語る..... 2

経済学部長

商学部長

外国語学部長

大学院 経済経営研究科に

博士(後期)課程を開設 ..... 4

さらなる発展をめざして

外国語学部・留学生別科

10周年を迎えて..... 5

Essay

シリーズ コーシンと歩く瀬戸の街 第3回

「陶祖のことなど」木村光伸 ..... 6

現代の「異類異形」たち

曾我良成 ..... 7

Topics

第17回 学生論文コンクール..... 8

1998年度 就職決定先一覧..... 9

シリーズ 海外姉妹校紹介

ランドルフ・メイコン大学

Campus Now

シリーズ ..... 10

ゼミナール訪問 ②

梶田ゼミ

サークル短信

柔道部

1998年度 課外活動報告 ..... 11

本学の動き この1年

Information

NGUバス運行について..... 12

募集活動始まる

最終講義

二村和之教授 / 稲毛満春教授

メインストリートに花壇を新設

1999年度 資格講座案内

ホームページコンクール

愛知県経常費補助金交付

COSMORAMA(コスモラマ)の由来

「宇宙」や「世界」を表わすCOSMOS(コスモス)とPANORAMA(パノラマ)との合成語。19世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。

「ゆめの実現」

「とつとつやつたプロゴルファーへ夢の実現」

頑張りやの青年が、プロテストに合格するまでの努力の足跡。そして、これからのきびしい道について、語ってもらいました。



こんどう としひろ

1980年3月経済学部経済学科卒。本学入学と同時にゴルフ部に入部。ゴルフ部の基礎づくりに貢献。現在、苦勞をかけた奥さまと2人の子どもに恵まれて名古屋市天白区に在住。

周囲の「おめでとう」の声にも気が抜けてしまったような感じだったので、家族に電話で報告した際、女房の泣き声を聞いたことで、ぐっと込みあげてきましたね。

——ゴルフのプロテストとは、どのようなものなのでしょうか。

1次・2次予選を通過し、3次の最終選考で40位タイまでに残らなければなりません。私の場合、前年の3月から12月までに行われた中部地区練習場連盟の研修会での成績がトップでしたので、今年1次と2次はその特典で免除となりました。3次の選考対象となるのは1・20位までですが、1次予選以前に行われる予選からですと、受験者は約5,000人ほどになると思います。

——プロゴルファーになろうと思ったのはいつごろからでしょうか。また、その動機はどのようなものだったのでしょうか。

クラブを初めて握ったのは、小学生のときでしたね。叔母が女子プロゴルファーでしたので、その叔母にレッスンを

——この度は、プロテスト合格おめでとうございます。合格を決めた瞬間のお気持ちはいかがでしたか。

テスト最終日4日目は、台風のなかで行われました。3日目までに12位まで順位を上げてきたこともあり、当日は比較的落ち着いたプレーができていたのではないかと自覚しています。最終ホールは、パッティングを終えた瞬間に家族の顔が頭の中を通り抜けていきました。

# Interview

## 近藤年弘

受けていました。また、地元近くのコースで『中ロクラムン』や『東海クラシック』などのビッグタイトルを間近に見ましたので、本物のプロのプレーには少年時代から心が躍らされてきましたね。その時の強いイメージがプロへの道を駆り立てたのでしょうか。

——言葉では雌伏何年と言いますが、この世界では、失礼ながら長年に渡ってチャレンジし続けるゴルファーはいらっしゃるのでしょうか。

今回の合格者のなかでは、私が最年長17回目の挑戦で合格ということになりましたが、プロテストを受けている人の中では20回以上という方もいらっしゃいますね。苦労したというよりは、やはりゴルフが好きで続けてきたという感じでしょうか。

初めてプロテストを受けたのは25才の時でした。30才までには何とかかなったかと思っていたのですが、気がつけばこの年になっていました。ちょうど28才の時でしょうか。たまたま30歳パーティーをはずしたことから、バックに陥り、結果不合格となりました。それが忘れられない記憶として残っています。でもその経験が、プロへの強い思いを支えてきたのかも知れません。

——このように頑張ったから近藤さんを支えてきた生き方を教えていただけますか。

そうですね、自分の人生は、他の誰でもない自分自身のもだから、後悔だけはしないよう、本当になりたい自分をめざして努力は惜しまないよう、とは思っていましたね。

——ご家族の協力なくしては得られなかったプロの道だと思えます。ご家族のみなさんの感想はいかがでしょう。

結婚したのがちょうど30才を過ぎたころだったので、プロゴルファーとしては、半人前といった意識があったのですが、生活の方を考えると、インストラクターの資格を取得し、プロの道をあきらめかけた時期もありました。35才を過ぎると、周囲のフ



大学ゴルフ部時代

いシャワーも厳しくなり、40才までに合格できなければ、挑戦をあきらめようと思っていました。プロテストのエントリーだけでも相当な費用を払ってききました。



——大学時代の思い出として、印象的なことはどのようなことでしょうか。またクラブ活動などの学生生活で、近藤さんの現在に何かを与えているようなことはありますか。

大学での生活もやはり、ゴルフ中心でした。入学してすぐに新人歓迎合宿があったのですが、これがたいへん厳しいと入学前から聞いていたので、合宿前に自主トレーニングを積んでから臨んだのですが、役に立たないほどの厳しさでした。夜逃げする者もいて、結局私の同期は4人しか残っていませんでした。何かの失敗をしてはよく坊主頭になっていました。さすがに私たちが上級生になつてからは、少し緩やかになっていたのではないかと思います。しかし、その甲斐があって、入学した時点で2部リーグ上位だったのが、私たちの入学後早い時点で1部へ昇格することができました。野球部の優勝の影に隠れてしまったのですが、全国で4位になるといつか成果をあげた年もありました。

——社会人として、また同窓生として今、近藤さんが本学に期待するところ、理想とする大学像などありませんか。お聞かせください。

今お話をさせていただいたとおり、私の大学生活はゴルフを抜きには語れないものでした。時間の大半をゴルフに費やしていたのですが、それでもきちんと大学を卒業することができたのは、良くも悪くも当時の大学には学生に対する包容力があつたからではないかという気がします。

今の時代にそれをそのまま当てはめることは難しいことだと思います。しかしながら、個々の学生の小さな可能性の芽を決して摘み取らず、できる限り長所を伸ばしてあげられるような環境作りをしてあげてほしいですね。

——後輩へ贈るエールメッセージをお聞かせください。一度限りの人生、自分が本当にやりたいことをやらないうちで後悔することはとても残念なことだと思います。そのためには、自分自身が何をしたいのか、いろいろな経験のなかから、自分自身の目標を見つけて出してほしいですね。はっきりとした目的意識を持つことはその目標に向かい進んでいくための強い動機付けになるのではないかと思います。

——プロとして、これから厳しい努力が必要とされると思いますが、何を目標に進まれるのでしょうか。

やはり、プロになった以上、トーナメントプレーヤーとして試合に出場していきたいですね。できれば、国内だけでなく、アジアで開催されるツアーなどにも積極的に参加していきたいと考えています。

——本日はありがとうございました。今後のご活躍を楽しみにしています。

### 頑張れ 近藤年弘くん

近藤年弘くんは1979・80年と本学ゴルフ部が全日本学生ゴルフ選手権大会で連続4位入賞したときのメンバーでした。技術的には大学時代からかなり高いレベルにあり、プロテストに関しては運に恵まれなかったと思えます。しかし、自分の一番好きなゴルフで生きていこうという情熱を失うことなく「継続は力なり」を具現されたこと心から「おめでとう」をお送りいたします。  
(亀井 貞次 ゴルフ部部长 経済学部教授)

# 学部長 わが学部 を語る

今回は、学部長にそれぞれの学部について語ってもらいました。学部長が語る自分の学部のこと、そしてほかの学部についても関心をもって私たちの名古屋学院大学をもっと知りたいものです。

## 経 済 学 部



経済学部長  
名城邦夫

経済学部は1964年の開設以来、建学の精神、敬神愛人を教育理念として、まず共通教育を中心とする人格教育に力点を置き、さらにこの教養教育の基盤のつぎに、福田敬太郎初代学長が創立記念式典で述べた、中部圏の経済発展に役立つ国際感覚を備えた経済人を育成することを学部の基本目標としています。そのような目標を達成するために、学部教育では基礎的専門教育、大学院では高度な専門教育を目指し、それぞれの特長を生かしつつ学部・大学院一貫教育を目指しています。

専門教育では導入教育を重視し、基礎ゼミを少数教育で行ない、経済学入門教育を中心に大学教育の基礎を教え、加えてこれにクラス担任制の役割も持たせ、学生の自覚を引き出す努力を行なっています。99年度からはこの基礎ゼミのクラス担任制をより充実させるためにクラスアドバイザー制とオフィスアワーを実施し、学生の個別指導を本格的に行なう予定です。

基礎的専門教育の中心としてマクロ・ミクロ経済学を重視し、100人以下のクラス編成でできるだけ丁寧な教育を目指しています。さらに2000年からは日本経済入門や学科総合講座などによる基礎的専門教育の充実によって学生にわかる授業を心がける考えです。

このように基礎的専門教育の充実をはかるなかで応用分野にも力をいれ、2000年からは学生の目的に応じてコース制を設け、「現代経済コース」「金融・財政コース」「国際経済コース」「比較経済・歴史コース」で経済分析論、金融論やデータ処理論、都市経済論や環境経済論などを学習できるように、将来、産業界や公務員その他の分野に進む学生に実際に役立つ知識を教授するようにカリキュラムを編成しています。もちろん学部の正規のカリキュラムだけでは学生の要求にこたえることができないので、様々な科目を「資格取得講座」として開講し、両者があいまて学生の要求に応えられるよう、充実した体制を整えていきたいと考えています。

ところで、経済学部では社会の差し迫った要請に応え問題を自ら発見し、解決する能力を養い、とりわけ問題解決に必要な政策マインドを持った学生を養成する

ために2000年度に、「政策学科」を増設する予定です。これによって経済学部が35年間追求してきた大経済学部構想が一層裾野を広げ、法律や政治、政策学分野の教員の充実によって経済政策を中心とする総合政策学部に対応する学科を擁し、学生の多様な要求に対してかなりの程度応えることができるようになることを確信しています。

このように2000年以降、学部学科の拡充が計られ、制度的にも充実した体制が取られることとなりますが、教育はあくまでも教員個人の情熱が支えであり、この点経済学部のすべての教員は情熱に燃えて2000年学部教育改革に取り組んでいます。

こうした人材に支えられ今後ますます経済学部は発展していくと確信しています。



商学部



商学部長  
小嶋 博

商学部は「実社会で問題解決能力を持って活躍できる人材の育成」を目標に「学科4コースを有する学部」として、1992年、経済学部から分離独立しました。商学部はもとの経済学部とどこが違うのかとよく聞かれます。その時、私は、全体的立場で理論中心に学ぶ経済学部に対し、商学部は全体と部分の双方の立場から現実経済問題の解決方法を学ぶ学部である」と説明しています。このような説明法は経済学部の先生方には不満かもしれませんが、商学部は実学指向の学部です」と抽象的に言うよりはよく理解してもらえます。どういつか、実学という言葉は、理論なき技術の修得のように解されがちです。しかし、実学とは、現実問題を解決する学「のはずであり、現実問題が生じる諸要因をシステマ的・歴史的・理論的に把握し、その上で、実際に「ひ

外国語学部



外国語学部長  
清水 克正

英語とか中国語などの外国語を学ぶ場合、その言語に堪能になるのみならず、それぞれの国の社会的・文化的背景を学び、自国との違いを理解することが大切です。異なった言語と文化を持つ人々を相互に理解することは、これらの国際化・情報化社会の中で極めて重要であり、外国語の学習は未知の架け橋と言えます。わが外国語学部では、こつこつと考えるに基つきりキラムを編成しています。

と」の組織を通して、どのように問題解決するかを課題としながら、理論的分析と問題解決法を探索するのが実学の方向性であり、その意味では、まさに「わが商学部は実学指向の学部だと自負できます。」

現実の経済問題は、ひとものかねが全世界的広がりや時間的連続の中で複雑に関係し合いながら起きていくことを考えます。実学的成果を挙げることは容易ではありません。そこで、商学部の教育では、広い視野で物事を考え、正しく関係性をとらえることの必要性が、いわゆる「経済学、商学、経営学、会計学」等の専門分野以外に「文学、歴史学、哲学、社会学、政治学、自然科学」などの諸分野を広く学ぶよう強調しています。また、世界に関心を持たせるため「ミニマム」な手段の修得のために、英語だけでなく他の外国語を学ばせています。このような観点から言えば、商学部の教育は広い知識の上に実学を指向しながら専門的基礎力を養成しようとしているところに特色があります。

商学部は開設当初から学生に「ノートパソコンを携帯させ、パソコンのリテラシー教育を行ってきました。これは、社会共通に必要なとされるような技術は習得しなければならぬ」という商学部の教育方針の現れであり、今では「パソコン利用の基本教育は全学で行われ、商学部独自の特色ではなくなりましたが、商学部ではさらに、現代の必需品となつたり「コンペ」企業経営等の実践の場より高度な問題分析・解決の手段として使いこなせるような方向を目指し教育しています。この方針にもみられるように「

外国語学部には英米語学科と中国語学科の二学科があり、それぞれ総合的な語学力の養成のため、経験豊かな教授陣によるレベルの高い授業を行っています。語学の学習は受身的なものではなく、学習者の自発性を促し、実際に「ミニマム」な語学能力を持つことが求められています。このため、徹底した語学演習、幅広い専門科目および少人数ゼミによるきめ細かい指導を行っています。英語または中国語を母国語にする専門家による授業も数多く開かれており、外国語を通して専門知識を学ぶことが行われています。またCALLと呼ばれる「コンピュータを利用した外国語学習も特色のひとつであり、多年にわたる研究実績に基づき「プログラムによりマルチメディアを有効に利用しています。」

さらに、外国語は常に使用する必要がありますが、学部内では異文化の人々との接触は日常茶飯事であり、学生は協定校からの教員・学生を含め、英米語圏、中国語圏

商学部では常に現実を直視し、実践性を重視した教育を行っているのも特色といえます。

現実直視という観点から、商学部では「企業見学・経営者講演会」「インターンシップ」「企業実習」等により実際の社会を知る機会を与えています。「こつこつと通じ、学生に彼らがこれまで知らなかった世界を知らせ、現実理解を促進するのが狙いです。このような企画とは別に、通常の授業においても、各教員が現実の種々の具体例を通して制度の現実、理論説明等を行い、過度な抽象的説明にならぬよう配慮しています。」

現実的という意味では、高校から大学へ進学しても、多くの講義科目の中から何を履修すればよいが困惑する学生の多い現状を考え、学習の方向性を示すことで、容易に目標にたどりつける道筋をつけるために、商学部では学部必修科目、コース選択必修科目を設け、カリキュラム上の工夫をし、レベルに乗れば目標に到達できるような配慮をしています。

商学部は「このほかにも多くの特色を有していますが、他大学、他学部に対して誇りうるものとして教員の教育への熱意と学生への配慮をあげることができ、この教員の熱意と学生への熱意がある限り、これからの変化してやめぬ社会の中で活躍していく多くの人材がわが商学部から輩出されるものと確信しています。また、そのような人材を育成し、世に輩出させることで、わが商学部の使命であり誇りでもあります。」

の人々とキャンパスでの各種の機会を通して接することができる。若し学生時代にこつこつとした人々の多様な文化とおらかな国民性に直に触れることは極めて重要であり、こつこつとした経験を通して人生を豊かなものにして欲しいと考えています。

学部開設後早いもので10年が経過し、今まさに多くの卒業生を送り出しており、国内外のさまざまな分野で活躍しています。発展途上国におけるNGOでの活躍を通して国際協力の研究に従事している卒業生、アメリカで高等学校の教員をしている卒業生など、本場に多種多様な仕事に就いて、それぞれの立場で努力をされていることがうかがえます。時折、卒業生がキャンパスを訪れ、語学演習で苦労した話などを聞きますが、チャペルのある品野台での学生生活が心のどこか片隅にあり、日々の支えのひびきかたが、こつこつと続きます。

外国語学部10周年記事が5頁にあります。

# 大学院 経済経営研究科 経営政策専攻に博士(後期)課程設置

この4月から大学院経済経営研究科経営政策専攻に博士(後期)課程が開設されることになりました。

博士(後期)課程は、基本的には「自立して研究活動を行い、またはその他の専門的業務に従事するのに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養う」ことにありますが、修士課程の実績を考慮し、経営学研究の先端部分を開拓できる研究者、及び高度な経営政策策定のために必要な専門知識を有し、社会の最前線で活躍できる専門的職業人の両者の養成を目標としています。



副業館(大学院棟)

研究内容は大きく会計学、マーケティング、企業法、経済学の4分野に分け、講義科目である特論と演習を配置

しており、課程の修了要件は、研究指導科目と同じ特論とその他の特論(講義科目・4単位)を



さかえサテライト(中日ビル7階)

3科目(研究指導科目)8単位を3年間にわたり履修し、計20単位を修得し、研究指導を受けつつ博士論文の作成をすることとなります。

またこの特論開講教員の3名が個々人の主担当教員および副担当教員として指導にあたることとなります。開講科目と担当者下記のとおりです。

## 会計学分野

- 企業会計特論  
可児島俊雄 教授
- 財務管理特論  
小嶋 博 教授
- 金融システム特論  
二村和之 教授

## マーケティング分野

- 国際マーケティング特論  
梅津和郎 教授
- マーケティング特論  
羽路駒次 教授
- 国際経営特論  
森田保男 教授

## 企業法分野

- 企業法務特論  
服部育生 教授
- 流通政策特論  
岡田千尋 教授

## 経済学関連分野

- 産業経済特論  
十名直喜 教授
- 比較経済体制特論  
家本博一 教授
- 理論経済学特論  
中村至朗 教授

## 大学院 研究科と専攻

経済経営研究科	経済学専攻	修士課程
	経営政策専攻	博士(前期・後期)課程
外国語学研究科	英語学専攻	修士課程
	中国語学専攻	修士課程

## 編入学定員も認可されました

大学院博士課程と同時に申請していた学部・学科の収容定員の増加(編入学定員枠)についても認可があり、本学の収容定員は次のようになりました。

学 科	経済学科	商学科	英米語学科	中国語学科	合計
入学定員	450	300	150	50	950
3年次編入学定員	60	60	30		150
収容定員	1,920	1,320	660	200	4,100



# つらなる発展をめざして

## 外国語学部10周年を迎えて

外国語学部長 清水克正

外国語学部は、1989年4月に発足して  
おり、今年でちょうど学部開設10年目になり  
ます。何事においても10年はひとりの節目であり、  
過去を振り返り、また将来を見つめる好機と  
言えます。1998年11月11日(水)に教職  
員をはじめ多くの方々の協力を得て学部開設  
10周年記念式典・記念講演を開催できまし  
たことはの上ない喜びと考えています。

外国語学部は、既存の経済学部を基盤に、  
大学がそれまで力を入れてきた語学教育と  
国際交流の実績の上に発足したもので、英米  
語学科と中国語学科の二学科を擁し、専攻する語学の  
徹底的な指導と周辺領域の幅広い学問分野の教育を  
実施しています。使える語学力の養成を目標に、きめ細  
かい指導とそれぞれの専攻言語を母国語とする専門家  
による講義を特色のひとつとしています。今までに多く  
の卒業生を輩出してあり、国内外を問わず社会の多く  
の分野で活躍しています。また外国語学部開設と同時に  
留学生別科も開設され、国際交流も本格化し、キャン  
パスにいながらにして異文化を体験できる環境は、大  
学の大きな特色となっております。

さらに、1997年には外国語学部の上に、外国語  
学研究科英語学専攻の修士課程が開設され、また  
1998年には中国語学専攻が同じく昼夜開講制で  
発足し、文字通り学部・大学院の研究と教育の体制が  
整ったと言つてかまいません。

学部を取り巻く状況は、学部の発足時に比べてより厳  
しくなっていますが、学部教育のさらなる充実を図り、次  
の20年目を目指して、地域および国際社会への貢献をし  
て行く所存であり、今後でも引き続き支援いただければ幸いです。

## FOREIGN LANGUAGE



## 留学生別科10周年を迎えて

留学生別科長 P・D・マツラ

昨年の秋、日本語を  
学びたいというタイの女  
性から留学生別科へ問  
い合わせがありました。  
その人はタマサート大学  
の大学院生で、日本の  
大学の日本語コースを  
Webで探していたこと  
ろ、名古屋学院大学の  
日本語研究が彼女に  
とって最も魅力がある  
と思つたそうです。彼女  
が本学を選んだ理由の  
一つは、語学クラスのサイ  
ズが小さいことと多國  
籍の学生が在籍してい  
ることでした。

日本語研究の学科は、10周年の終わりを迎えようとして  
います。この10年は学生の受け入れの点でこそ多  
くの変化がありました。海外からの学生に提供して  
きた教育の質の高さは変わっておりません。この質の高  
さを支えてきたのは、クラスのサイズが小さいこと、また、  
日本語担当および地域研究コース担当の教員が注いで  
きた教育への情熱です。交換留学を行っている海外の日  
本語学科からは、本学のプログラムは、早稲田大学や関  
西外国語大学における交換留学のようなくらい大きい  
プログラムと比べ、より効果的な教育を行っているという  
高い評価を得ています。留学生別科(1-JS)は、  
1989年の春に、10名の学生、8名の私費留学生と  
2名の交換留学生を受け入れました。8名は中国か  
らで、2名はアメリカからです。中国の学生はアメリカ

の学生は、別科において二つのとも大きいグループ  
を成しており、また、私費留学生と交換留学生の割  
合は、初期の頃と比べ、逆転しています。たとえば、  
1-JSの5年目すなわち1993年は、私費留  
学生は19名、交換留学生は16名でした。しかし、今年  
は21名の交換留学生に対し、私費留学生は9名です。  
この数字は、交換留学プログラムの成功を示すと共に、  
アジアから応募してくる私費留学生が現在直面して  
いる経済的な問題を明示しています。

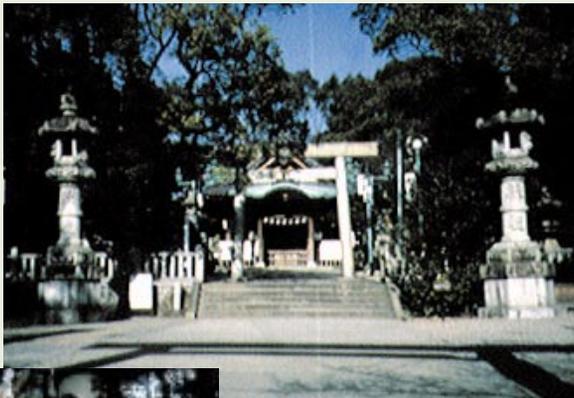
300名以上の留学生在1-JSで学んできました。  
当初は小規模でしたが、現在では、日本語研究におい  
て目をみはるほどの影響をもたらすものとなるまで  
に成長しました。この10周年にあたって、1-JSの未  
来に対して私たちが抱くゴールがいくつかあります。  
一つは、できるだけ多くのコースを学部のコースと統合  
することです。このことにより、1-JSの学生と本学  
の学生は、共に学び、議論し合う機会が与えられるこ  
とになります。もう一つは、1-JSをより広く宣伝し  
ていき、より強い動機をもつた私費留学生在本学での  
勉学に惹きつけることです。また、私たちは、5年目に  
入った紀要「日本語・日本語教育論集」により優れ  
た論文を掲載していただけることを望んでいます。また、こ  
こ数年間の情勢を鑑みて、私たちは、交換留学先との  
関係をより統括的に維持していくためには、日本で長  
期に渡ったプログラムに参加できない学生の要求を満  
たせるような短期プログラムを提供する必要がある  
と考え始めています。また、そのようなプログラムは、  
また日本語研究が十分に確立されていない海外の大  
学の日本への興味を刺激するのに役立つと考えています。

# 陶祖のことなど



尾張瀬戸駅から瀬戸川に沿って東へ歩くとやがて深川神社の門前へと至る。瀬戸川に架かる宮前橋の欄干を江戸時代の陶工たちの様子が描かれた染付の陶板が飾り、その両端を陶製の狛犬が守っている。

ここはたしかに陶器の里であるのだ。瀬戸駅前の南橋は織部焼が映え、神明橋もまた染付に飾られている。そして町並みの東端近く、東橋の欄干は鼠志野で構成されて、瀬戸川に架かる橋には何かしら陶器があしらわれている。鎌倉時代のこと、宋の国で修行を積んで日本に戻った加藤四郎左衛門景正（通称、藤四郎）が良質の陶土を求めて諸国を放浪した末に辿り着いたのが、今の瀬戸である。瀬戸川



深川神社



陶彦(すえひこ)神社



宮前橋の欄干

に沿ってさまざまたあげく、古びた社殿でまどるむうちにつの啓示を得て、谷を遡って探し求めた陶土を発見した。それが藤四郎と蛙目土（ガイロメツチ）との出会いであると、瀬戸の昔話は伝えている。瀬戸の陶祖として崇められる加藤藤四郎伝説よりも、実際にはずっと以前からこの地では陶器がつくられてきたことは間違いない。それでも瀬戸の陶祖には「藤四郎さん」が誰よりも似つかわしいと、瀬戸の陶工たちは畏敬の念をなくすことなく今に至っている。そんな話を思い出しながら、深川神社に詣でると、決

して大きくはない神社がなにかしら偉大に見えるから不思議である。神社の境内には古墳もあり、この社が上代から続くといわれていることもうなずける。瀬戸は本当に歴史を刻んだ土地なのだ。

深川神社と並んで鎮座しているのが陶彦神社で、「藤四郎さん」が祀られている。この宝物殿には藤四郎作と伝えられる陶製の狛犬が保存されている。陶彦神社の本殿前に10センチ足らずの小さな狛犬がたくさん供えられている。「お願い

これらの狛犬は、「創意工夫の神」に対して捧げられた願い事を腹の中に潜ませて、ひっそりとその成就の時を待っているかのようである。

深川神社の門前へでるとなぜか名物のウナギと焼きそばの店が軒を並べ、いい香りに包まれる。夜になると小さな飲屋街ともなるこの一角は瀬戸の近代化とは無関係なように見える。それでも参拝客や観光客が頻りに訪れ、祭礼の日ともなると雑踏と化すといった具合で、まことに不思議な空間を作りだしている。ここで軽く腹枵えをして今度は陶器の里の曲がりくねった路地へと入り込んでいくのもまた「興かも知れない。

(経済学部教授 木村光伸)



## 現代の 「異類異形」たち

歴史好きな方は、南北朝内乱期に「ばさら」と「異類異形」と言う二つの独特な風潮が存在したことは既にご存知だと思います。

「ばさら」とは、サンスクリット語のバアジャラから派生した言葉で、派手な、贅沢な、無遠慮なという意味で使用され、常識を外れた行動を表現しています。ばさら大名として、連日連歌の宴を催した佐々木道誉や、どうしても天皇が必要なら木か金属で造って飾っておけばよいと放言したといわれる高師直などが有名です。

「異類異形」とは、当時、守護や荘園領主に敵対し反体制的な行動をとった「悪党」といわれる集団が、しばしば当時の常識とは異なった変わった服装・身なりをしていたことから言われた言葉です。

どちらも、鎌倉幕府体制が崩壊し、次の足利の体制が不安定な段階で生まれてきた風俗・風潮です。古い権威や常識にとらわれず、むしろ常識から意図的に外れるという形で自己の存在を確認していた人々であったのかもしれませんが。古い権威や常識にとらわれている貴族や上級武士たちは、おそらく不快な気持ちで見ていたに違いありません。

現在、大学のキャンパスや教室には色とりどりの髪の毛の色の学生が見かけられます。ひところは茶髪(ちゃぱつ)といっていたですが、もう今は茶色一色に限れません。また、ピアスをする男子学生も増えてきています。御年配の教職員やOBの方々のなかには、とうとう大学までとお嘆きの方もおられるかもしれませんが、髪の毛が黒くなければ勉強ができないというわけでもありません。ピアスをしている男子学生が、必ずしも不真面目な学

生ではないのです。昨年度、私が担当した科目の優秀な学生の中には赤や茶色の髪をしたものがありましたし、立派なレポートを提出した男子学生はピアスをしていました。

このような現代の「異類異形」たちが、南北朝期の元祖のように社会的な勢力であるかどうかは別として、古い常識にとらわれない新しい自己表現を彼らは行っていると見ることができるのではないのでしょうか。そういえば、今回の芥川賞受賞作家も茶髪でピアスの京大生だということです。

ロックを聴き、髪を長く伸ばし、ギターを弾いていると、とんでもない不良のようにいわれた時期もありました。生活指導の教師から髪の毛を引っ張られながら、「床屋いってこい」と理不尽に脅された私は、逆に意地でも切らずに伸ばしつづけました。もちろん、意地で勉強もしました。

ファッションであれ、人種的なものであれ、病気の結果であれ、髪の色や肌の色をとにかく言うべきではないように思います。新聞でも紹介されていましたが、このところ本学は、障害をもった学生の受け入れに積極的な姿勢を示しています。学生として問われるべきは、学ぼうという意欲だけでよいように思います。

今、我々が古さを価値として感じている法隆寺などの建築物も、当時は常識を超えた最先端の造形だったはず。「ばさら」で「異類異形」に見える学生たちからしか新しい時代は生まれないのかもしれませんが、卒業のため単位くださいと夜遅く自宅に電話してきて、泣きついてくる「ばさら」な4年生には、ちょっと閉口しています。

曾我良成(経済学部助教授)  
担当:日本史

異類異形「融通念仏縁起」より

# 第17回 学生論文コンクール

産業科学研究所は、学生の特色ある教育研究の振興に寄与し、学生のみなさんの自主的な研究活動を援助しようという視点から「学生論文コンクール」を実施しています。

応募論文について審査した結果、次のみなさんが入賞し、1月13日(水)に表彰式を行いました。

## 東アジアの経済

1970年代におけるASEAN諸国の経済に対する政府の役割について

井上聖文

### (要旨)

1997年にタイの通貨ハットの切り下げから始まったアジア通貨危機は瞬く間に平成不況に喘ぐ日本や周辺諸国のインドネシア・シンガポール・マレーシア・フィリピンといったASEAN諸国や韓国・香港に大きな影響をもたらした。

こつしたことから、私はもともと東アジアの経済に興味があったこともあり、今回のこのアジア通貨危機が起こった原因が、これらの国々が経済発展をしていく過程で生み出した経済構造にあったのではないかと推測した。

そこで、本論文では、東アジアの中でも今回のアジア通貨危機の当事国及び周辺国であり、また、我が国日本とも経済関係が深いインドネシア・マレーシア・シンガポール・タイ・フィリピンといったASEAN諸国にタイ

それぞれの入選論文について、選考委員からは、次のような講評がありました。井上論文については、「アジア通貨危機」という現実の経済問題に着目してASEAN5カ国の経済における問題点や今後のあり方が、同の視点で眺めようとする試みがなされている。森論文では、最近の話題しかも難しいテーマに挑戦しようとするチャレンジ精神と歴史的背景から現在の破綻処理を評価しようとする点にも対策案があげられていることが評価されました。今後多く学生のみなさんの力作を期待します。

### 入選

井上聖文(経済学部4年)「東アジアの経済」  
森 芳美(経済学部3年)「金融破綻 最後の戦い」

## 金融破綻 “最後の戦い”

森 芳美

### (要旨)

バブル崩壊後、暗くて長いトンネルに入った日本経済。

「負の遺産」である不良債権の処理に真剣に取り組まず先送りを続けた結果、いつになっても出口は見えてこない。

政府・自民党は7月になってようやく受け皿銀行「ブリッジバンク」を柱とする金融再生「トータルプラン」の創設を決めた。金融システムを再生させるため、国の予算の半分に相当する30兆もの「公的資金」という名の税金をつぎ込むというものだが、自民党は参院選で惨敗。橋本首相は退陣に追い込まれた。日本経済は再び、成長軌道に乗ることができているのか、それとも平成金融恐慌に転落、世界恐慌の引き金を引くのか。

いずれにせよ、残された時間は

多くない。

ブリッジバンク方式の銀行破綻処理案が決まったが、これはまたしても、問題の先送りにつながる。日本の金融システムは今、「戦時体制」にある。大手邦銀のさらなる崩壊が、巨大な国際金融バツクにつながる可能性がある。

また、現状は昭和金融恐慌後の処理策以前である。

金融危機を回避するために、政府・自民党は「ブリッジバンク」を中心とした「金融再生トータルプラン」を発表したが、これらの大半は、1929年(昭和2)の金融恐慌時に行われた方策である。では、70年前の教訓は生かされるのか…。



# Seminar訪問 25

## 梶田ゼミ

ゼミ担当を始めてから5年になり、製本された卒業論文が1995年度分から3冊研究室の本棚に並んでいる。この3月にはもう1冊増えるはずである。タイトルには「インターネット」「電子マネー」「オンラインショッピング」などの最近のキーワードが含まれるものが多いが、「データベース」「プログラミング」などの基礎的な課題に関するものも含まれている。文系でゼミなるものを担当する以前は理系の研究室での少人数の卒業論文・修士論文の指導を行っていたので、ゼミといわれる演習をどのように運営するか最初はとまどいを感じていた。しかし、毎年3、4年次それぞれ20数名のゼミ生と週1度ずつ演習の時間に顔を合わせているうちに、次第にその演習内容とペース配分が固定していった。

3月の最終の目標はテーマを決めて卒業論文を書くことであるが、実際はテーマを決めるまでの期間が最も長くなっている。したがって、ゼミ内でそれぞれがテーマ内容について議論を行うという仕組みが十分に時間を取れないというところであるが、ゼミ生どうしのいろいろな面での協力は比較的盛んに行われている。

演習ではパソコンを利用して、論文作成のみでなくテーマ内容の発表プレゼンテーションは、内容のプレゼンテーションなどにも利用している。したがって、パソコンを道具として使っている。高校で厳しい練習をしてきた人々には物足りなく感じられるかもしれませんが、大学での練習は自主性が重んじられており、やらされるのではなく、自分たちで内容を決めて行うものです。すべて自分のやる気次第なのです。部員が少ない分、誰でも選手になれるチャンスがあり、素人でも頑張れば黒帯をとれるようになります。



今後はパソコンを道具として使いたくはないかと思われる。ただ、3、4年となり実際に多く利用する時にいくらかソフト、ハードとも古くなってしまうという状況に、パソコンに関する技術が急速に進歩しているという問題がある。

自主的に学習できるような環境となるようにしていきたいと思っています。

( 商学部教授 梶田 建夫 )

# シリーズ Circle短信

## 柔道部

体育会

我が柔道部は、東海学生柔道連盟に加盟し、夏季大会・冬季大会とともに一部で頑張っています。今年も、部員不足で団体戦のメンバーが7人しかいません。しかし部員は少なくても、ひとりひとりがやる気を持ち目標を持って部活に臨んでいます。このような環境の中でも、個人戦で全国大会に出場して頑張っている者もいます。

練習は、昼休みを利用して短時間に集中して行っています。高校で厳しい練習をしてきた人々には物足りなく感じられるかもしれませんが、大学での練習は自主性が重んじられており、やらされるのではなく、自分たちで内容を決めて行うものです。すべて自分のやる気次第なのです。部員が少ない分、誰でも選手になれるチャンスがあり、素人でも頑張れば黒帯をとれるようになります。

年3回の合宿は、通常の練習時間の少なさを補うために行っています。試合に向けての調整や、個々の能力の向上をめざすのが本来の目的ですが、もうひとつの目的は、大学生活の思い出作りや、互いの親睦を深めることです。

年間を通しての活動期間は比較的短く、前期試験前から前期試験終了まで、お盆、夏季大会終了後から後期授業開始まで、冬季大会終了後から3月中・下旬まではオフ期間です。

部活には、多少辛いことがありますがそれ以上に楽しいことや勉強になることがたくさんあります。自分にとってはこれらすべての事がプラスであり、自分自身を成長させた大きな要因となっています。大学で、何か自分が夢中になれることがあるというのは、言い換えれば充実した学生生活を送ることができるということだと思います。そのためには、自分が夢中になれることを探すべきだと思います。

来期も、夏季大会・冬季大会で上位を目指し、一部の常連になれるように頑張りたいです。

( 商学部3年 鈴木 淳 )





## 99年度NGUバス運行について



従来、スクールバスという名称で親しまれてきたバス通学体制は今年から「NGUバス」という本学独自の固有名詞を用いることにしました。どうぞよろしく。

昨年よりタイヤの無駄をなくしてコンパクトにまとめると共に、授業日はもちろん土曜日や夏・春の休暇中も含め280日にわたって運行します。

また、昨年までの年間定期利用券方式にあわせて、「一回」この回数利用券方式を導入しました。なお、4月1日から10日の間は全員無料で利用できます。

## 募金活動始まる

本学は先に創立30周年記念「教育研究振興基金」の募金事業を行い、父母を始めとして多くのみなさまから協力いただきました。

引き続き、学費以外の継続的収入の確保をめざし、新たな教育振興資金の募金活動を開始することになりました。

みなさまがたのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 趣意 本学の教育環境の整備  
(情報化・国際化・高度化への対応)
- 目標 1億円
- 期間 1998年10月から5年間
- 対象 父母・同窓会、大学院生教職員

## 最終講義

3月末をもって定年を迎えられる「二村和之教授(商学部)・稲毛満春教授(経済学部)」の最終講義が開講されました。



二村教授

二村和之先生は1992年4月の商学部開設と同時に教授として就任され、長年の金融業界での実体験をもとに金融について幅広い講義をされてきました。その他、就職部長、商学部大



稲毛教授

行政部分でも大学に深く貢献されました。最終講義は、昨年12月18日(金)にB3教室で行われ、多くの学生、教職員が受講しました。

稲毛満春先生は1991年4月に経済学部教授として就任され、日本経済論、経済政策論などを担当されたほか、経済学部選考委員としてご尽力いただきました。最終講義は、今年1月12日(火)にB3教室で行われ、多くの学生、教職員が受講しました。

このほか、最終講義は行われませんでしたがこの3月に定年で退職されるのは、古賀哲夫教授(経済学部)・梅津和郎教授(商学部)・片野彦教授(外国語学部)です。

## メインストリートに花壇を新設

このほど、父母会および同窓会よりキャンパスメインストリートに花壇新設の寄付申出があり、3月12日(金)に完成しました。これは父母会の卒業記念事業ならびに同窓会の設立30周年記念事業として本学に寄付されたもので、正門から麦粒苑につづくメインストリート(第1研究館前から希望館前)に馬蹄型花壇を10基設置し、外縁側に木製ベンチを設置し、学生のいこの場にしようとするものです。



花壇の中心には8mの櫻(けやき)を植栽し、まわりには草花を配するものとなっております。今後緑陰のもとキャンパスでの楽しい語らいの場となるものと思

## 1999年度「資格講座」開講についてのお知らせ

資格取得の便宜をはかるため、昨年度に引き続き1999年度も本学キャンパス内で「資格講座」を開講します。これは多くの学生のみならず、Tスに於いて開設するもので、河合塾と提携し、本学向けのカリキュラムが組まれています。

「1999年度資格講座の案内」を就職課・学生食堂にて配布していますので参考にしてください。4月中旬に説明会を開催しますが、詳細は掲示でお知らせします。



# Information

## 1999年度 4月～5月行事予定

### 4月

3日(土) 大学院 開講式

5日(月) 入学式

新生 学生生活オリエンテーション  
学生証交付

留学生別科オリエンテーション  
[7日(水)まで]

6日(火) 新生 履修書類配布  
03E[栄光館]  
03C[A1教室]  
03F[A2教室]

8日(木) 新生 課外活動オリエンテーション

9日(金) 大学院 前期授業開始

新生 健康診断  
クラスオリエンテーション  
履修登録[C教室]  
[いずれも12日(月)まで]

13日(火) 前期授業開始

### 5月

10日(月)～21日(金)  
図書館 リサイクル展  
(雑誌バックナンバーの提供)

24日(月)～26日(水)  
留学生別科フィールドトリップ

## 1999年度に開講する「資格講座」は次の10講座です。

No	講座名	コマ数	開講期間	開講曜日・時間帯
①	第二種情報処理技術者	65コマ(97.5時間)	5月～10月	(月)5限、(水)3・4限
②	初級システムアドミニストレータ	40コマ(60時間)	5月～10月	(月)5限、(水)3・4限
③	秘書検定2級	12コマ(18時間)	5月～6月	(水)のみ3限又は4限
④	英検準1級	13コマ(19.5時間)	5月～6月	(月)5限、(木)5限
⑤	英検2級	13コマ(19.5時間)	5月～6月	(月)5限、(木)5限
⑥	TOEIC対策	13コマ(19.5時間)	5月～7月	(水)のみ3限又は4限
⑦	日商簿記2級	74コマ(111時間)	5月～11月	(月)5限、(水)3・4限
⑧	宅地建物取引主任者	45コマ(67.5時間)	5月～10月	(水)のみ3・4・5限
⑨	一般旅行業務取扱主任者	52コマ(78時間)	5月～9月	(月)5限、(木)5限
⑩	ビジネス能力検定3級	14コマ(21時間)	5月～6月	(水)のみ3限又は4限

- (1)開講日程(時間割・教室名)の詳細は4月30日(金)に掲示板でお知らせします。  
(2)開講開始日は、講座によって異なりますが5月12日又は13日の予定です。  
(3)講座は夏季休暇中も開講しますので、開講日程・時間に注意してください。  
(4)資格講座についての相談窓口は就職課です。気軽に相談してください。  
(5)現在「資格講座仮申込書」を受け付けています。



## 1999年度履修登録等スケジュール

### 履修書類配布(10:00～12:00)

- 1日(木) 02・01生 [401～404教室]  
2日(金) 00生 [401～404教室]  
6日(火) 03生 [栄光館、A1ほか]

### 履修登録(13:30～16:00)

- 1日(木) 02・01生 [C教室]  
2日(金) 02・01・00生 [C教室]  
5日(月) 02・01・00生 [C教室]  
6日(火) 02・01・00生 [C教室]  
7日(水) 02・01・00生 [C教室]  
9日(金) 03生 [C教室]  
12日(月) 03生 [C教室]  
(1、2日は12時から)

## 愛知県経常費補助金交付

愛知県から平成10年度(1998年度)私立学校経常費補助金として1,406,000円が交付されました。  
この補助金は、女子学生用フィットネス器具/5種(女子更衣室内設置)の教育研究用機器備品購入費の部に充てました。

情報教育研究センターではホームページコンテンツを実施しました。数点の応募状況でしたが作品はレベルの高いものが集まりました。審査はセンタ運営委員会における電子会議で行い、「コンテンツ技術、インタクト、好感度」などの要素を加味して選考がなされ、上記のとおり江崎賢君(経済3年)の作品が最優秀賞に選ばれました。江崎君は、12月になってからはじめてホームページの勉強をし、約1カ月ほどで完成させたということでした。ホームページの作成技術だけでなく自分の興味・発信したい情報が明確に伝わってくるページでした。

本学の情報はホームページでもご覧いただけます

<http://www.ngu.ac.jp/>



表紙写真 / 「陶土探掘場」150号

臼井新一(うすいしんいち)

東方美術協会所属東方美術協会賞を  
2度受賞。作風は点描手法を特徴として  
いる。現在名古屋に在住。  
第2研究館入口に常設。

学校法人 **名古屋学院大学**

発行日 1999年3月17日

編集 名古屋学院大学 広報(UI)委員会

発行者 名古屋学院大学 学長室広報課 愛知県瀬戸市上品野町1350  
〒480-1298 TEL 0561-42-0350 ISSN 0915-8901